

環境経営 活動レポート

期間：2022.3~2023.2



発行日：2023.5.31

1. 環境経営方針	…	2
2. 組織の概要	…	3
3. 環境経営目標と実績/次年度の取り組み	…	10
4. 環境活動計画と結果/次年度の取り組み	…	17
5. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟の有無	…	19
6. 代表者による全体評価と見直しの結果	…	20

1. 環境経営方針

I. 基本理念

アイエスジー株式会社（以下、当社）は、事業を通じて地域社会の発展に資する会社として、地球環境と当社基本理念の調和を目指し、限られた資源の有効利用と環境汚染の防止に取り組むとともに、地域社会の環境保護活動の推進に貢献します。

II. 基本方針

当社は、基本理念に基づき環境目標を明確に定め、自ら率先して環境保護活動を推進し、エコアクション21（以下、EA21）の継続的な見直しと改善に努めます。

1. 環境法令を遵守します。

環境に関する法律・条令等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

2. 環境保護活動を実施します。

- (1)地球温暖化・資源枯渇を防止するために、省資源・省エネルギー・化学物質管理を積極的に推進します。
- (2)地域顧客に対し、環境保護の観点から省エネ機器や最適エネルギー等を積極的に提案し、販売します。
- (3)廃棄物の削減およびリサイクルの推進に努めます。

3. 従業員教育を実施します。

環境保護に関する意識向上を図るため、当社従業員へ継続的に環境教育を行います。

4. 環境活動を公表します。

環境経営活動レポートを作成し、地域から信頼される企業を目指します。

2019年9月01日 制定

2020年3月01日 改訂

2021年7月19日 改訂

2023年3月01日 改訂

アイエスジー株式会社

代表取締役社長 塚本信太郎

2. 組織の概要

事業所名 アイエスジー株式会社

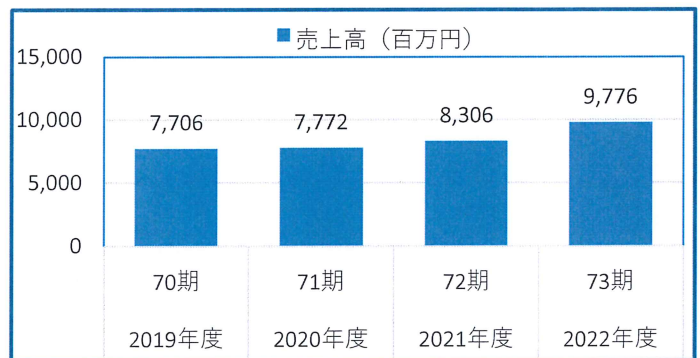
代表者 代表取締役社長 塚本信太郎
 環境管理責任者 総務部長 恩田明
 連絡先 電話：047-429-1234 FAX：047-429-2116
 e-mail：soumu3@sohit-isg.jp

事業内容 LPガスの個別・集中供給、ガス機器・住宅設備機器の販売・施工
 ガス配管設備の設計・施工、冷暖房設備の販売・施工
 LPガス容器の検査業務
 住宅リフォーム事業
 グリストラップ清掃、産業廃棄物収集運搬業
 家庭用燃料電池設備の設計・施工、太陽光発電設備の設計・施工
 電力小売事業、コインランドリー事業

事業規模 創業 1884年（明治17年）
 設立 1950年（昭和25年）

(2023年2月末現在)

売上高 9,776 百万円
 資本金 100 百万円
 社員数 451 名



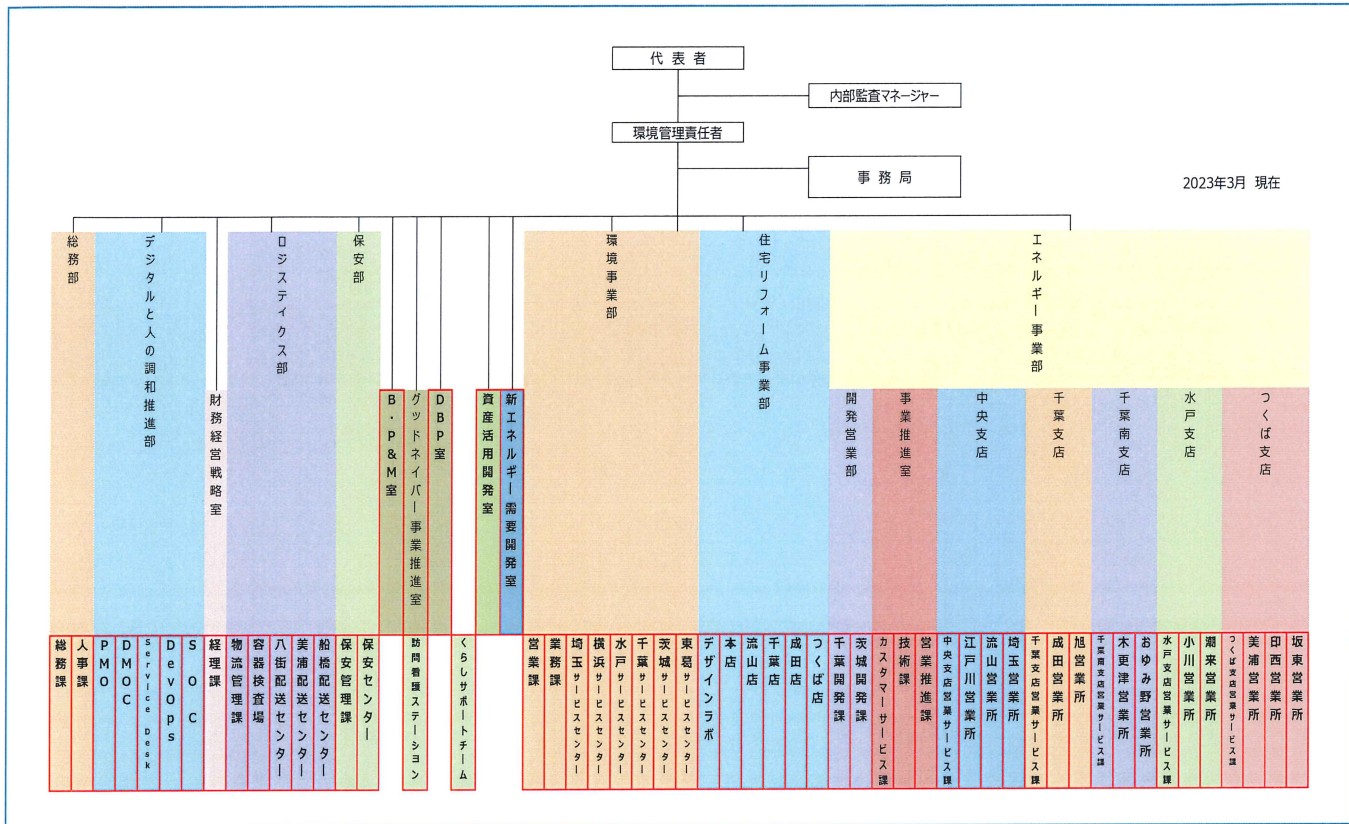
■ 事業所 所在地

01	千葉県船橋市藤原3-16-17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務課 ・ 人事課 ・ デジタルと人の調和推進部 ・ 経理課 ・ B・P&M室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 船橋配送センター ・ 保安管理課 ・ 保安センター ・ 新エネルギー需要開発室 ・ 訪問看護ステーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境事業部 営業課 ・ 環境事業部 業務課 ・ 環境事業部 東葛サービスセンター ・ 住宅リフォーム事業部 本店 ・ 暮らしサポートチーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資産活用開発室 ・ カスタマーサービス課 ・ 技術課 ・ 営業推進課 ・ 中央支店営業サービス課
02	東京都江戸川区南篠崎町4-13-10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸川営業所 			
03	千葉県流山市南流山4-7-14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流山営業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅リフォーム事業部 流山店 		
04	埼玉県春日部市浜川戸1-5-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉営業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境事業部 埼玉サービスセンター 		
05	千葉県八街市八街い186-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉支店営業サービス課 ・ 物流管理課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉開発課 ・ 容器検査場 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境事業部 千葉サービスセンター ・ 八街配送センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISG LAUNDRY 八街店
06	千葉県成田市松崎1647-8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成田営業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅リフォーム事業部 成田店 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISG LAUNDRY 成田店 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SENSHA Bicycle 成田
07	千葉県旭市二6423-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭営業所 			
08	千葉県茂原市茂原1526-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉南支店営業サービス課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISG LAUNDRY 茂原店 		
09	千葉県木更津市真里谷2126-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木更津営業所 			
10	千葉県千葉市緑区おゆみ野1-20-6	<ul style="list-style-type: none"> ・ おゆみ野営業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅リフォーム事業部 千葉店 		
11	茨城県那珂市中台856-3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水戸支店営業サービス課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境事業部 水戸サービスセンター 		
12	茨城県小美玉市山野407-112	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小川営業所 			
13	茨城県潮来市須賀2940-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 潮来営業所 			
14	茨城県つくば市さくらの森1-8	<ul style="list-style-type: none"> ・ つくば支店営業サービス課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茨城開発課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅リフォーム事業部 つくば店 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境事業部 茨城サービスセンター
15	茨城県稲敷郡美浦村郷中2837-3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美浦営業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美浦配送センター 		
16	千葉県印西市大森3602-18	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印西営業所 			
17	茨城県坂東市弓田2136-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 坂東営業所 			
18	神奈川県横浜市青葉区鉄町1086-3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境事業部 横浜サービスセンター 			
19	千葉県船橋市本郷町481-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ デザインラボ 	<ul style="list-style-type: none"> ルネ西船橋4号棟106 		
20	千葉県柏市柏の葉5-4-6	<ul style="list-style-type: none"> ・ DBP室 	<ul style="list-style-type: none"> 東葛テクノプラザ403 		

■ 対象範囲と役割

登録範囲は全事業所を対象としています。(全57部署)

(1) 実施体制



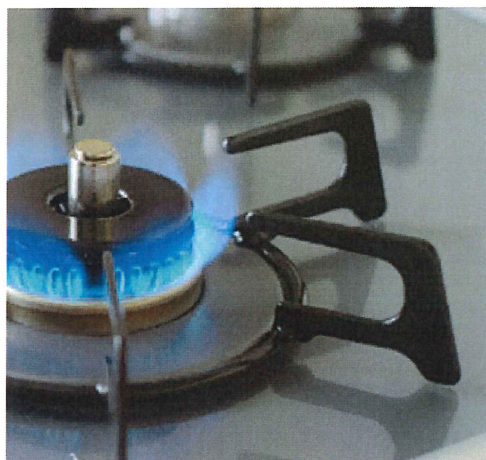
(2) 役割

主担当	責任 / 権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境経営方針を作成する。 ■ マネジメントレビュー時に意見・改善指示を行う。 ■ 資源の準備をする。
環境管理責任者 (総務部長または代表者からの指名を受けたもの)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育計画書・教育訓練記録(導入研修のみ)を承認する。 ■ EA21活動チェック表、環境配慮型商品販売実績報告の確認する。 ■ 法規制登録表及び遵守評価表、手順書の承認をする。 ■ 外部コミュニケーションの確認をする。 ■ 環境配慮型商品販売によるCO2削減の年度目標が75%未満になると予想した場合は該当部門へ是正報告書の提出指示する。 ■ 環境負荷項目において年度目標が75%未満になると予想した場合は、該当部門へ是正報告書の提出指示する。 ■ 環境経営システムの構築、実施及び運営管理を行う実務上の責任の権限を持つ。 ■ システムの構築・運用に関する情報を代表者へ報告する。 ■ マネジメントレビューを開催する。 ■ マネジメントレビューを取り纏め、必要に応じて全従業員への周知を行う。

主担当	責任 / 権限
内部監査 マネージャー (弊社内部監査 マネージャー)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全社の内部監査計画を作成する。(内部監査人、内部監査時期、内部監査内容) ■ 内部監査報告書及び内部監査不適合是正報告書の取り纏めを行う。 ■ 内部監査状況を環境管理責任者へ報告する。 ■ マネジメントレビューに立ち会い、意見・助言等を行う。
事務局(総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ■ マニュアル、会社概要、組織図、環境方針、法規制登録表及び遵守評価表、手順書 内部監査報告書、導入教育記録等の管理を行う。 ■ 環境負荷数値(総務課が把握できるもの)を入力する。 ■ 環境経営活動レポートの作成及びホームページへの掲載依頼を行う。 ■ マネジメントレビューに参加し、資料提供を行う。 ■ 外部監査(EA21事務局)を手配する。
営業推進課 リフォーム事業部 新エネルギー需要開発室	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境配慮型商品販売実績取り纏め及びデータ入力を行い、環境管理責任者へ 報告を行う。
所課長 一部室長 (組織図で 赤枠表示)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年間教育計画及び進捗確認表を作成する。 ■ 導入教育を実施し、『教育訓練記録』を作成する。 ■ エネルギー事業部・ロジスティクス部・環境事業部は、緊急事態対応の定期教育を 行い、記録を保管しておく。 ■ 毎月事務局から届く燃費の向上、電力削減、廃棄物削減、水使用量削減、地域貢献 活動状況を回答する。 ■ 環境負荷(水・ガスの使用量)の数値を入力する。 ガスの17拠点、環境事業部横浜サービスセンター、デザインラボ、野田配送事務所 ※拠点毎 本社→総務課 千葉支店(八街配送センター含む)→千葉支店営業サービス課 つくば支店→つくば支店営業サービス課 美浦営業所(美浦配送センター含む)→美浦配送センター ■ 法規制登録表及び遵守評価表を確認し、自部署が遵守出来ているか確認及び遵守 出来ていない場合は、改善を行う。 ■ 必要に応じて、外部コミュニケーション記録を作成する。 環境に関する外部からのクレーム・称賛や地域への環境活動等に記録し、 環境管理責任者へ提出する。
各部長	<ul style="list-style-type: none"> ■ マニュアル、法規制登録表及び遵守評価表等の見直しを行う。 ■ 部門別緊急時対応手順書の作成及び見直しを行う。 (エネルギー事業部・ロジスティクス部・環境事業部) ■ 環境配慮型商品販売による目標設定内容・数値見直しを行う。 (エネルギー事業部・リフォーム事業部)
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ■ EA21導入研修を受け、EA21を理解する。 ■ その後もEA21に関する教育を年度内に1回以上受ける。 ■ 燃費の向上、電力削減、廃棄物削減、水使用量削減、地域貢献活動を行う。 ※但し、地域貢献活動は、5人未満の拠点は強制しない。

■ LPガス販売

災害に強いLPガスの供給をはじめ、ガス機器や住宅設備機器の販売・施工を通じて快適で人と環境に優しい暮らしを支えます。



■ 液化石油ガス販売事業者届

登録番号

関東通商産業局長 第52A0054

登録日

平成9年4月1日

■ 電気事業

皆さまの暮らしに欠かせない身近なエネルギー「電気」を
今までと変わらない安心感と、シンプルな料金体系でお届けするISGでんきです。



■ 登録電気工事業者届出済票

登録番号

千葉県知事 届出 第260007号

登録日

平成26年1月28日

電気工事の種類

一般用電気工作物・自家用電気工作物

■ 住宅リフォーム事業

お客様お一人おひとりの想いを伺い、理想の住まいづくりをサポートしています。快適なリフォームをご提案し、形にしています。



■ 一般 建設業の許可

許可番号 千葉県知事 許可 (般-2)第 6702号
許可の有効期限 令和2年5月27日から令和7年5月26日まで
建設業の種類 建築工事業 電気工事業 管工事業 内装仕上工事業

■ 宅地建物取引業者免許証

免許証番号 千葉県知事 (1) 第17429号
有効期限 2018年10月31日から2023年10月30日まで

■ 二級建築士事務所

免許証番号 千葉県知事登録 第2-2303-7195号
有効期限 2023年3月20日から2028年3月19日まで

■ 環境事業

業務用厨房などから排出される油分や残渣を回収するグリストラップ清掃他
快適で清潔な環境づくりをサポートします。

■ 産業廃棄物収集運搬業許可証

事業の区分 収集・運搬（積替・保管を除く）
産業廃棄物の種類 汚泥、廃油



管轄	許可番号	許可年月日	有効期限
東京都	01300057319号	1999年12月17日	2026年12月16日
千葉県	01200057319号	1998年11月25日	2025年11月24日
埼玉県	01105057319号	1999年 2月16日	2024年 2月15日
神奈川県	01403057319号	2001年 2月27日	2030年 2月26日
茨城県	00801057319号	1999年 2月23日	2024年 2月22日
群馬県	01000057319号	2001年 3月22日	2030年 3月21日
栃木県	00900057319号	2000年 4月12日	2029年 4月11日
福島県	00707057319号	2001年 4月12日	2030年 4月11日
宮城県	00400057319号	2007年 8月16日	2024年 8月15日

■ 優良事業者認定証

認定番号 4-22-D0116
有効期限 2023年4月1日から2026年3月31日まで
種類 産廃プロフェッショナル

■ 産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低公害車の導入状況

車両の種類：清掃車 2023年2月28日現在

運搬車の排ガスレベル	台数	割合
全保有台数	19	100.0%
平成12年基準適合/排出ガスPM75%低減ディーゼル車☆☆☆	2	10.5%
平成22年規制適合/排出ガス10%低減車☆	3	15.8%
平成17年基準適合/PM10%低減重量車☆	1	5.3%
平成28年規制適合	10	52.6%

※ 車両を入替する際は、低公害車を選定

運搬車の燃費低減レベル	台数	割合
全保有台数	19	100.0%
平成27年度燃費基準達成車	2	10.5%
平成27年度燃費基準5%向上達成車	11	57.9%

※ 車両を入替する際は、低公害車を選定

3. 環境経営目標と実績/次年度の取り組み

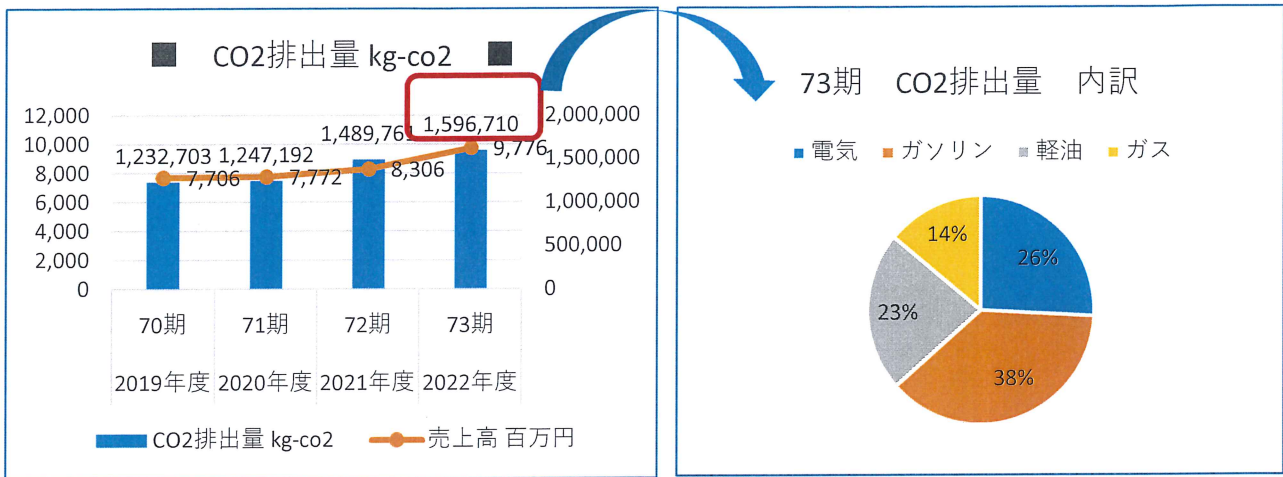
監視項目は、要因分析と取り組みやすさの観点から、2022年度より営業所単位から一人当たりの目標数値へ変更しました。

※達成度 ◎：110以上 ○：109～100 △：99～80 ×：79以下

取組項目	基本方針	単位	2022年度 73期		目標比	達成度
			目標	実績		
■ CO2排出量						
電気(一人当たり)		kwh	100.90	133.08		
" (総使用量)	使用量維持	kg-co2	61.55	81.18	76%	×
ガソリン(一人当たり)		L	53.35	51.01		
" (総使用量)	使用量維持	kg-co2	123.77	118.33	105%	○
" (総使用量)		L	267,541.52	259,162.85		
軽油(一人当たり)		L	26.57	27.44		
" (総使用量)	使用量維持	kg-co2	68.55	70.79	97%	△
" (総使用量)		L	133,265.08	139,418.67		
LPG/都市ガス(一人当たり)		L	13.41	14.65		
" (総使用量)	使用量維持	kg-co2	36.18	43.95	92%	△
" (総使用量)		L	70,391.46	74,428.31		
(一人当たり)			290.05	314.25		
(総排出量)	排出量維持	kg-co2	1,489,761.05	1,596,710.28	92%	△
■ 廃棄物排出量及び省資源						
一般廃棄物排出量(一人当たり)		kg	6.10	6.11		
(総排出量)	分別の促進	kg	30,589.20	31,045.60	100%	○
産業廃棄物排出量(一人当たり)		kg	56.24	67.82		
(総排出量)	適正処理	kg	282,028.40	344,588.10	83%	△
(内 自社排出量3%) (一人当たり)		kg	1.68	2.03		
(総排出量)	分別の促進	kg	8,461.00	10,338.00	83%	△
水使用量(一人当たり)		m ³	0.99	0.98		
(総使用量)	使用量維持	m ³	4,127.50	4,994.00	101%	○

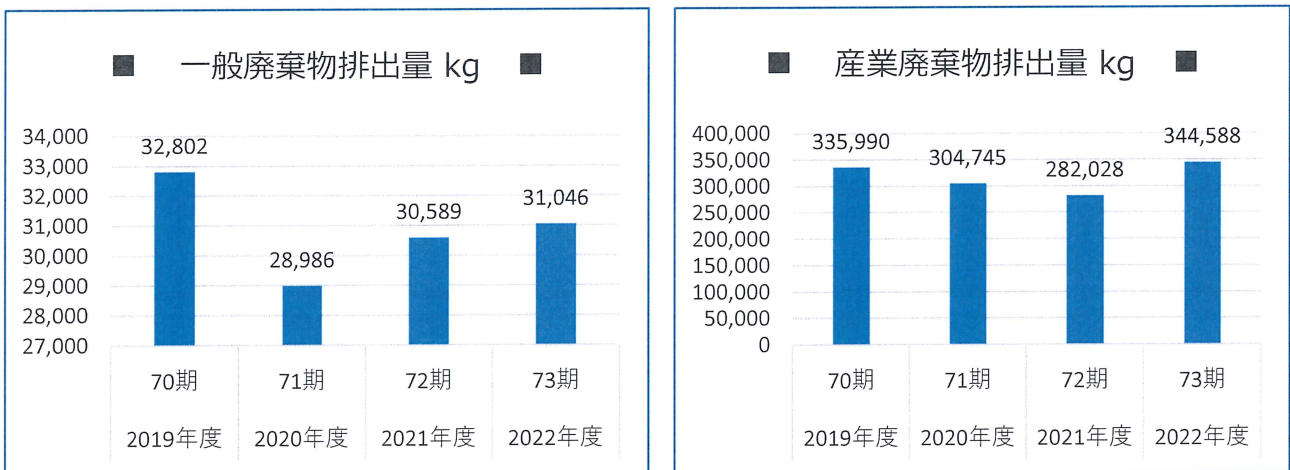
- ※一人当たりの算出根拠 総量 ÷ 総延人数 (5,081人)
- ※電力のCO2排出係数 0.610kg-CO2/ k W h (2019年度アイ・エス・ガスマ(株))
- ※ガソリンのCO2排出係数 2.32kg-CO2/ k W h
- ※軽油のCO2排出係数 2.58kg-CO2/ k W h
- ※LPGのCO2排出係数 3.00kg-CO2/ k W h
- ※都市ガスのCO2排出係数 2.16kg-CO2/ k W h

CO2 総排出量 実績の推移



売上高と比例し全社のCO2排出量は増加傾向。
一人ひとりができる取り組みを継続していく。

廃棄物 総排出量 実績の推移



廃棄物排出量は増加傾向。一般廃棄物は一人ひとりができる取り組みを継続していく。
産業廃棄物は、分別を徹底して、再資源化率を上げていく。

上水 総使用量 実績の推移



ISG LAUNDRY 事業の影響を受け、増加傾向。
日常生活の範囲では、無駄遣いしないよう心掛けている。

事業活動に関する項目は、事業拡大に伴い増加傾向になります。

産業廃棄物収集運搬量の増加は、排水の水質改善となり、地球環境保護につながっています。

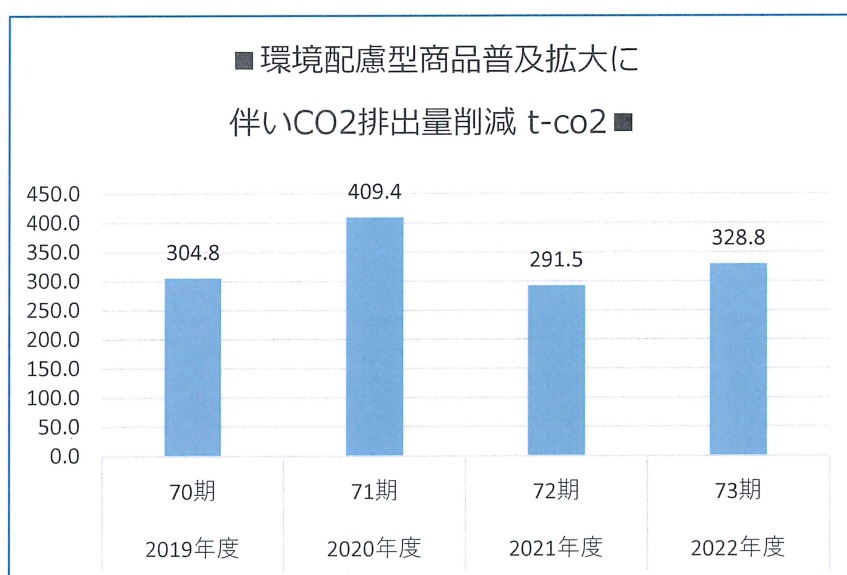
環境配慮型商品の普及拡大に伴い、ご購入いただいたお客様の元でのCO2削減を目標としています。

※達成度 ◎：110以上 ○：109～100 △：99～80 ×：79以下

取組項目	基本方針	単位	2022年度 73期		目標比	達成度
			目標	実績		
■ 事業活動に関連する項目						
産業廃棄物収集運搬量（汚泥）	適正処理	t	5,537.00	5,745.75	96%	△
化学物質の購入量（環境事業の洗剤）	適正管理	kg	650.0	680.0	96%	△
化学物質の使用量（容器検査場の塗料）	適正管理	kg	742.00	415.45	179%	◎
環境配慮型商品の普及拡大	積極的販売	t	291.5	328.8	113%	◎
■ 地域貢献活動						
環境美化活動	計画的実行	回	13	13	100%	○

※環境配慮型商品

商品名	CO2排出量 算出根拠
高効率 給湯器（エコジョーズ）	2 5 7 kg(CO2)/台/年
高効率 貯湯型給湯器（ハイブリット給湯器）	7 3 1 kg(CO2)/台/年
太陽光発電システム（kw）	5 3 8 kg(CO2)/㎡/年（集熱パネル面積㎡辺り）
省エネルギーフォーム（内窓断熱）	2 0 kg(CO2)/箇所/年
省エネルギーフォーム（節水トイレ）	9 0 kg(CO2)/台/年
省エネルギーフォーム（高断熱ユニットバス）	3 5 3 kg(CO2)/台/年



■ CO2排出量の削減

事業所の不要な照明等の消灯は、日頃から身につけている状況である。

軽油の主な使用先は、環境事業部のトラックであり、業務拡大と共に使用量が増加する傾向が数値から読み取れる。

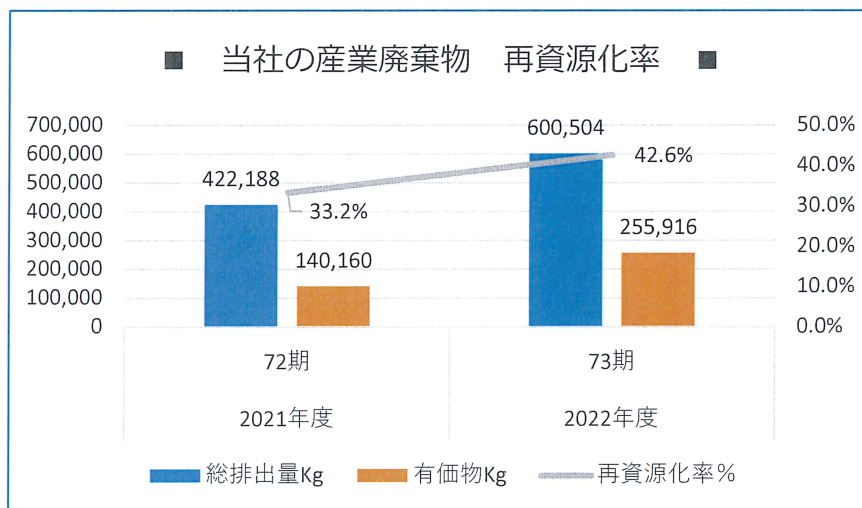
エコドライブは、環境保護だけでなく、安全運転の励行につながり自動車事故減少が期待されるので、積極的に推進していきたい。

ISG LAUNDRY 茂原店が2023年1月にオープンし、電力、水の使用量が増加した。今後の業務拡大と環境負荷数値の動向を見守っていく。

■ 廃棄物排出量及び省資源

産業廃棄物については、販売活動において排出されるものが9割以上であるため、当社でできる取り組みとしては、回収業者によるリサイクルがスムーズに行われるよう今後も適正な分別を行う。

再資源化率は、42%（255 t）前期と比べ9ポイントアップした。限りある資源の活用を促進するため、分別を徹底し、再資源化率を上げていく。



■ 事業活動に関連する項目

環境事業は、順調に取引先件数が増加したことに伴い、産業廃棄物収集運搬量（汚泥）が増加した。

〈グリストラップ清掃の様子〉



〈作業前〉

表面に油は浮いていて汚れているように見えます。



〈清掃中〉

汚泥と廃油をバキュームを使い吸い上げ、カゴを磨きます。



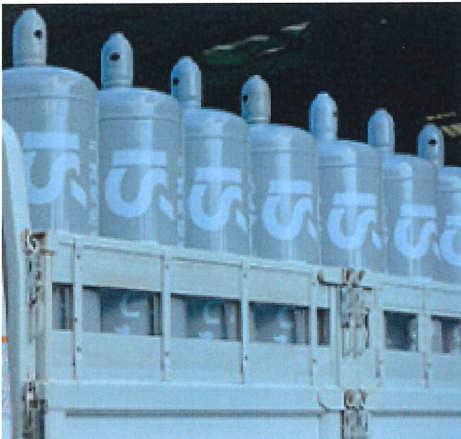
〈清掃後〉

ピカピカになりました。

～1階がラーメン屋さんで2階が住居のお客様より～すぐ隣が民家の為、においの対策で困っていたそうです。お客様からは「きれいに清掃してもらえるので、満足度は高い。」とお言葉をいただきました。

清掃時に使用する化学物質（洗剤）は、適正に管理することができた。

使用者への身体的安全と、環境への影響について、使用上の注意事項及び処置方法等の安全教育は定期的実施している。引き続き継続することとする。



ガスの容器検査場にて使用する化学物質(塗料)は決められた作業手順を順守することによって、必要以上の塗料を使わないように、消費量を適正に管理をしている。

前期の72期は、社名変更の際に多くの試作を行い塗料の使用量が増加した。

その影響を受け目標比179%となったが、73期は平均的な使用量に戻った。

環境配慮型商品の普及拡大は

半導体不足やサプライチェーン停滞が緩和され

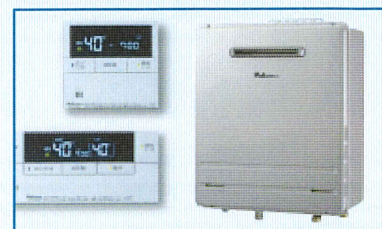
ガス器具等の商品仕入れの遅延が解消された

背景があり増加した。

今期も、お客様へ積極的に提案をしていき

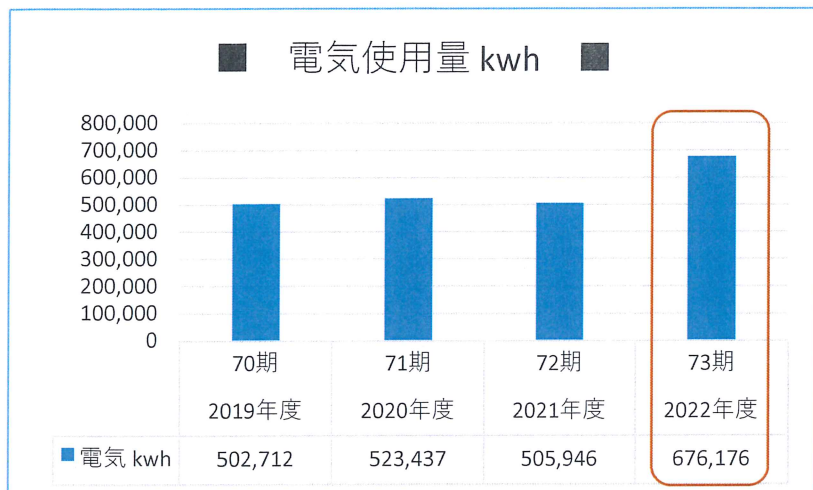
お客様と一緒に地球環境との調和を目指していく。

～ 高効率給湯器（エコジョーズ）～
少ないガスの量で、効率よくお湯を沸かす省エネ性の高い給湯器。
ガスの使用量が減からお財布に優しい。
さらにCO2の排出量も削減できるから環境にも優しい。



NEW!

脱炭素社会に向けた取り組み



当社が73期に使用した電力は千葉県、茨城県の太陽光発電の非化石証書を購入したことにより、実質的なCO2 排出量ゼロ化に取り組んだ。
(348,231 co2-kg 相当)

ISGでんきは、2023年7月から実質CO2ゼロの電気を供給する新プランがスタート。実質CO2ゼロへの取組みを地域の皆さまと共に推進していく。



■ 地域貢献活動

毎月1回、地域貢献活動として、会社周辺の清掃活動を行った。また11月に行われる船橋市主催の清掃活動に参加した。清掃活動を通じて得た地域の方々との交流を今後の活動に活かしていきたい。近い将来に向けて、活動範囲を広げることを検討しつつ、これからも地域貢献の一助となるよう、私たちにできることを続けていく。



■ 次年度の目標

環境経営目標は、前期実績値の維持としています。74、75期も同様とします。

取組項目	基本方針	単位	74期	75期
			目標	目標
■ CO2排出量				
電気(一人当たり)	使用量維持	kwh	133.08	74期 実績値
〃		kg-co2	81.18	
ガソリン(一人当たり)	使用量維持	L	51.01	
〃		kg-co2	118.33	
軽油(一人当たり)	使用量維持	L	27.44	
〃		kg-co2	70.79	
LPG/都市ガス(一人当たり)	使用量維持	L	14.65	74期 実績値
〃		kg-co2	43.95	
(一人当たり)	排出量維持	kg-co2	314.25	
■ 廃棄物排出量及び省資源				
一般廃棄物排出量(一人当たり)	分別の促進	kg	6.11	74期 実績値
産業廃棄物排出量(一人当たり)	適正処理	kg	67.82	
(内 自社排出量3%) (一人当たり)	分別の促進	kg	2.03	
水使用量(一人当たり)	使用量維持	m 3	0.98	
■ 事業活動に関連する項目				
産業廃棄物収集運搬量 (汚泥)	適正処理	t	5,745.75	74期 実績値
化学物質の購入量 (環境事業の洗剤)	適正管理	kg	680.0	
化学物質の使用量 (容器検査場の塗料)	適正管理	kg	415.45	
環境配慮型商品の普及拡大	積極的販売	t	328.8	
■ 地域貢献活動				
環境美化活動	計画的実行	回	13	13

4. 環境活動計画と結果/次年度の取り組み

環境活動は、おおむね計画通り実施されました。

EA21の定期教育の中で、普段の生活の中で取り組んでいることを共有して徐々に

「自らエコ活動する団体」に近づいているようです。

次年度も同様の取り組みを継続し、CO2排出量の削減に努めます。

※判定基準：8割以上できたら「○」

■ 燃費の向上

判定： ○

Q1. 【エコドライブ10】の実施（通勤時のマイカー含む）

■ 電力の削減

判定： ○

Q2. 席を離れる場合は、PC画面を消している。

Q3. 照明機器は使用する場所のみ点灯し、全員離席・不要な場所は消灯している。

Q4. 省エネタイプの蛍光灯並びに電球を極力使用している。

Q5. 空調機器は使用する場所のみ電源を入れ、全員が一定時間離席・不要な場所は電源を切っている。

Q6. 空調機器のフィルターが汚れていないことを確認した。又は使用しなかった。

Q7. 遠赤外線ヒーター等、高出力機器を原則使用していない。

Q8. 快適と感じる空調温度に設定し、業務効率を上げ、労働時間の短縮に努めた。

Q9. ノー残業の日は、定時刻の30分以内の退社し、電力削減に努めた。（緊急時対応は除く）

■ 廃棄物の削減

判定： ○

Q10. 極力廃棄物を、外部から持ち込まないようにしている。

例)エコバック等を利用し、レジ袋は受け取らない。

Q11. 廃棄物置場を明確にし、分別をわかりやすくしている。

Q12. リサイクル可能なものは分別をして、廃棄物を削減している。

■ 水使用量の削減

判定： ○

Q13. 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している。

Q14. 社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車時は節水を励行している。

■ 地域貢献活動

判定： ○

Q15. 月に1度以上、会社近隣清掃を行った

■ 環境教育の実施

判定： ○

EA21を全社で取り組む風土づくりのため、計画通り各拠点のスタッフとエコmeetingを実施した。
また、すぐできる改善アイデアを共有し、業務の生産性向上になる運用に取り組んだ。

5. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟の有無

当社に適用される主な環境関連の法規等は以下の通りです。

環境法令	規制事項
1 自動車Nox・PM法	千葉県対象 Nox・PM排出抑制（千葉県）等
2 浄化槽法	法定検査を実施等
3 騒音規制法	充填工場等のコンプレッサー騒音を規制範囲に順守等
4 廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業の届出、処理委託契約等
5 フロン排出抑制法	業務用空調の定期点検、簡易点検実施等
6 リサイクル法	PC等の廃棄時、データ消去や再生部品の利用を促進等
7 家電リサイクル法	家電製品適正引渡し等
8 建設リサイクル法	特定建設資材の構造物は、都道府県知事へ届出等
9 自動車リサイクル法	車両廃棄時に適正な処分等
10 消防法	消防設備機器の点検、消防計画書の作成等
11 高圧ガス保安法	高圧ガスの貯蔵、製造設備の届出等
12 労働安全衛生規則	化学物質使用時のリスクアセスメント調査等
13 建築物省エネ法	省エネ計画を届出等
14 大気汚染防止法	建築物を解体時、石綿の確認と処理等

環境関係法への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

また、環境に関する訴訟、近隣からの苦情等もありませんでした。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

■ 全体の評価

半導体不足が緩和され、物流が正常化したことで環境配慮型商品の販売目標が昨年を上回ったことは、お客様のCO2削減に少しずつではあるが着実に貢献できたと思う。

リフォーム事業は、集客方法の仕組化を強化した結果、多くのお客様から選ばれ環境配慮型の商品販売につながり、お客様の満足度向上とCO2の削減に貢献できた。これからも環境配慮型商品の提案を進めてください。

好調に推移している環境事業の主力であるグリーストラップの作業回数が増加したことは、お客様が排出した排水の水質改善につながり、水資源の環境保護が進んでいると推測できる。

お客様と共に地球環境と調和する取り組みが進んでいると判断している。

■ 指示内容

社員一人ひとりが自ら考え・行動することを目標としているSeedoProjectを活性化させて、社員全員が日々の業務の中から地球環境に配慮した改善や業務の効率化に取り組んでください。

社員一人ひとりが目標推進とCO2排出量の削減等の達成に向けて、行動してください。

■ おわりに・・・

『一歩先の「あたりまえ」をつくる。』をテーマに「サステナビリティな環境を地域と共につくる」「コラボレーションにより新たなサービスを生み出す」事業部間の異なる知識、情報、強味を共有し新たな付加価値を創造することを重要課題と位置づけ基本理念の実現への一つとして、会社全体でEA21に取り組んでまいります。

